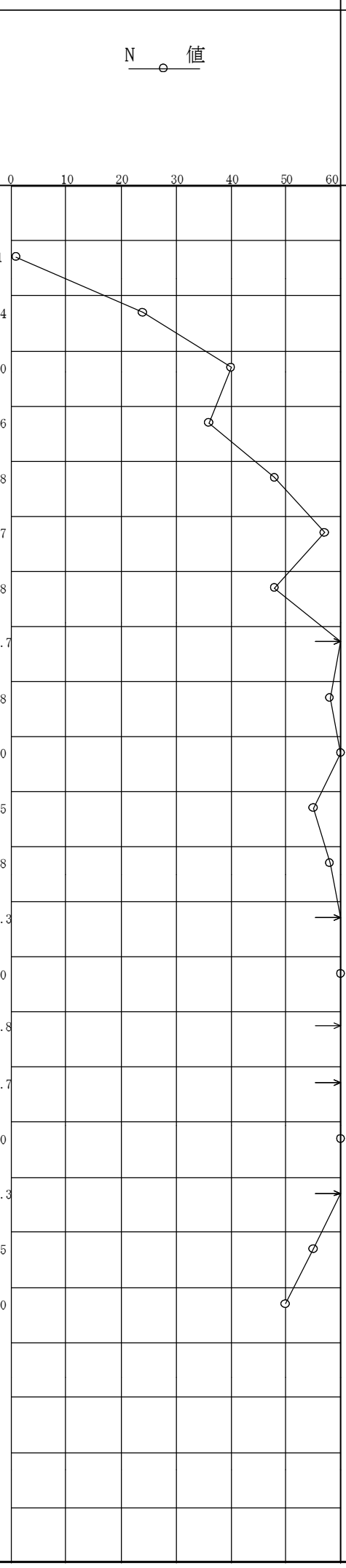
ボーリング柱状図

調　査　名　京都府民ステーション（仮称）整備事業地質調査業務

事業・工事名

ボーリングNo.										

シートNo.

ボーリング名	No.1	調査位置	京都市下京区烏丸通七条下る東塩小路町702-2,702-3,702-5,707-2							北緯	34° 59' 19"
発注機関	京都府総務部府有資産活用課			調査期間	平成 25年 2月 19日 ～ 25年 2月 21日					東経	135° 45' 31"
調査業者名	株式会社　関西土木技術センター 電話（075-641-3015）	主任技師	菅井　知宏	現場代理人	梅林　豊	コア鑑定者	梅林　豊			ボーリング責任者	安井　勝人
孔口標高	H=28.33m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0°	使用機種	試錐機	東邦D1-B	ハンマー落下用具 半自動落下
総掘進長	20.50m								エンジン	ヤンマーNFD-13	ポンプ 東邦BG-3C

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
1	26.88	1.45	1.45		盛土・粘土質砂礫	暗褐灰	-		表層5cmはアスファルト。 φ2～40mmの礫主体。 細～粗砂が混入する。 含水中～高位。		1.15	1			1/30	1							
2					砂礫	暗褐灰	中位～密な		φ10～30mmの亜円～角礫主体。 細～中砂が混入する。 φ40mm程度の亜角礫が点在する。 全体に漏水する。 含水低位。		1.45 2.15	8	7	9	24/30	24							
3											2.45 3.15	16	13	11	40/30	40							
4											3.45 4.15	12	11	13	36/30	36							
5										2/21 5.75	4.45 5.15	13	15	20	48/30	48							2/19
6	22.33	4.55	6.00								5.45 6.15	13	23	21	57/30	57							
7											6.45 7.15	15	18	15	48/30	48							
8											7.45 8.15	21	22	17/7	60/27	66.7							
9											8.42 9.15	20	18	20	58/30	58							
10											9.45 10.15	15	27	18	60/30	60							
11											10.45 11.15	18	19	18	55/30	55							
12					粘土混じり砂礫	暗灰褐	密な～非常に密な		φ5～20mmの亜円～亜角礫主体。 中～粗砂が混入する。 φ40mm程度の亜角礫が点在する。 全体的に粘土分を含む。 13～15mで礫径が若干小さくなり、φ2～10mmが主体となる。 含水中位。19m付近で高位となる。		11.45 12.15	23	20	15	58/30	58							
13											12.45 13.15	21	20	19/8	60/28	64.3							
14											13.43 14.15	20	18	22	60/30	60							
15											14.45 15.15	18	30	12/2	60/22	81.8							
16											15.37 16.15	22	20	18/7	60/27	66.7							
17											16.42 17.15	17	18	25	60/30	60							
18											17.45 18.15	20	20	20/8	60/28	64.3							2/20
19											18.43 19.15	15	20	20	55/30	55							
20	7.83	14.50	20.50								19.45 20.15	13	16	21	50/30	50							2/21
21											20.45												
22																							
23																							
24